

# 名家連ニュース

平成 23 年 11 月 16 日 (水)  
発行：特定非営利活動法人  
名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀場 洋二  
TEL/FAX (052) 411-2890 NO. 179 号

## 愛知県重点改革プログラム案 — 外部有識者ヒアリングによる採択結果

### 「妥当」3名、「再検討が必要」3名、「反対」1名

愛知県は「行革大綱に係る重点改革プログラム」の策定にあたり、外部の意見を聴く一環として、有識者による公開ヒアリングを通じて、第三者の提言を得るとともに県民の理解を深めるためと称して有識者による公開ヒアリングを実施した。

ヒアリングでは所管部局が改革素案の説明をした後、有識者が質問、議論した上で、素案の方向性について、有識者間の多数決を提言として進めていくこと表明し、①妥当②再検討の何れかについて採択を行なった。何れにも同意せず反対表明を行なった有識者は1名であった。



ヒアリングは重点改革プログラム策定に向けて検討している46項目の中から選定した8項目が対象であり、福祉医療（子ども、障害者、母子・父子家庭を対象に、県と市町村が補助し、医療費の本人負担分を無料にする仕組み）については「平成26年度の新制度開始を目途として、制度の見直しを検討する」ことが明記されています。



### 制度改正と家族の願い 名古屋市との懇談会開催

19日午後1時～健身会館において、定期懇談会を開催します。現在においても親亡き後においても当事者が地域で人として安心して暮らすことができることを私たち家族は切実に願っています。精神科医療や障害者福祉制度が大きく変わろうとしています。名古屋市においても第3期障害福祉計画の策定が大詰めを迎えてきました。

皆さんの生々しい声、生活体験を伝え、忌憚のない懇談の機会としていきましょう。

## 現況の小・中学校の教育について研究・提言

厚労省は、精神疾患を加え5疾病として、今後の医療計画に反映します。一方で、学齢期における“こころの健康教育”も大切な課題となっています。県立大学准教授の山田先生から家族の皆さんの体験を研究課題に活かし、小・中学生の保健教育のあり方に一石を投じたいと協力依頼がありました。19日午後2時半～の代表者会議の冒頭で山田先生から研究テーマの内容についてお話を伺い、懇談致します。

— 連絡事項 —  
19日の代表者会議に  
持ち寄って下さい

- ①100万人署名
- ②多機能型施設設置の署名
- ③名古屋手をつなぐ育成会の署名

